

| | |
|---|--|
| <p style="text-align: center;">目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 計画的な市街地縮小にむけた土地利用施策の実践例に関わる見学会と大会 OS によって、リバーススプロール(RS)の発生状況やこれへの対応策の現状と課題の把握を進めた。 2. あわせて地方の空き家の現状、不耕作地の増大、中心市街地の空洞化等の実態を見学会で視察をし、RS の実態に関わる情報を収集した。 3. 郊外居住地の今後のあり方に関わるシンポジウムから、都市縮小時代の郊外住宅団地の整備方針や住まい方に関わる議論を行い、今度の展望について知見を得る。 4. 都市縮小に関わる国際シンポジウムから、ドイツや英国の事情と日本の実態を比較検証し、合わせて両国研究者との今後の共同研究の可能性を探る。 <p style="text-align: center;">以上より、本年度の活動計画は当初の想定以上に達成できたと評価する。</p> |
| <p>委員会活動の問題点・課題</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 外部資金の獲得（次年度の活動分についてもなんとか確保している状況）。 2. 各メンバーが多忙な中での効率的かつ有効な活動運営。 |

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。